

2014年度 進路指導のための大学のアクティブラーニング調査

2014年12月24日(水)締切

■2014年度の貴学科についてお答えください。

大学名		学部名		学科名	
(専攻・コース・課程名)					
学科の1年生の定員	人	(専攻・コース・課程の1年生の定員)		人	
学科設置年度	西暦	年	(専攻・コース・課程設置年度)	西暦	年

注) 専攻、コースあるいは課程ごとに回答いただく場合にのみ、専攻・コース課程欄にもご記入ください。

■ご回答いただいた方についてお答えください。

お名前			(フリガナ ;)		
ご所属部門			お役職		
TEL		FAX		e-mail	
大学住所					
〒					

※ご記入いただいた個人情報は、ご回答内容に関する問い合わせ、及び、調査報告書の発送、今回調査報告に関する案内のためだけに使用いたします。

【はじめに】

本調査では、アクティブラーニングについて、文部科学省の定義に倣い、以下のように定義します。

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。(中略) 発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

文部科学省が大学設置基準で定める授業の方法には、講義、演習、実験、実習若しくは実技があります。うち、本調査では講義、演習、実験、実習の中で取り組まれているアクティブラーニングを対象とします。実技は芸術および体育に関する授業が主に該当しますが、本調査の対象には含みません。

1) 本調査で対象とするアクティブラーニング型授業科目

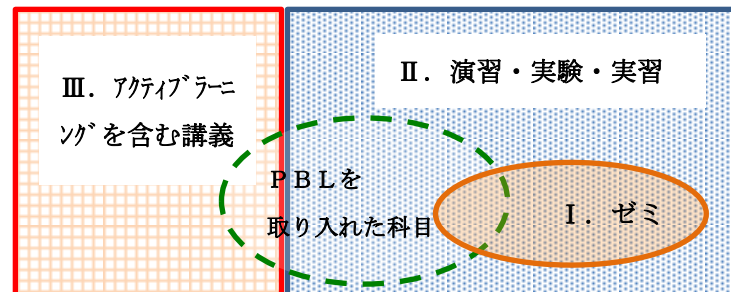
本調査でのアクティブラーニング型授業科目については下記の表と図を参考にしてください。ただし、教養科目に分類される「語学科目」「体育科目」「情報系科目」は対象から除外します。

I. ゼミ	双方向、少人数で行われ、輪読、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行なうことを基本とする演習科目。本調査では初年次ゼミと専門ゼミの総称としています。
初年次ゼミ	初年次に配当され①スタディスキルや、②大学での能動的な学びへの態度転換を目的に行われるゼミ。
専門ゼミ・専門研究	専門知識を活用したり発展させたりする目的で行われるゼミ・研究科目。
II. 演習・実験・実習	「グループ学習」、「プレゼンテーション」、「PBL」、「振り返りシート」のアクティブラーニングの4つの形態のうちのいずれかが、 全開講回数のうち延べ半数以上 で実施されている演習・実験・実習科目。なお、本調査での演習とはドリル等を用いた解法・技法のトレーニングを目的とした科目を指し、取り組み内容に鑑みてゼミに該当する科目については、ゼミとして回答してください。
III. アクティブラーニングを含む講義	知識伝達型の科目のうち、「講義」だけでなく「グループ学習」、「プレゼンテーション」、「PBL」、「振り返りシート」の4つの授業形態のうちのいずれかが、 全開講回数のうち延べ半数以上 で実施されている講義科目。

2) PBLを取り入れた科目

本調査でのPBL (Project / Problem based learning) 科目とは専門知識等を活用した課題解決型学習を取り入れた科目とし、PBLに取り組む授業回数が**全開講回数の半分以上**を占める科目のこととします。ただし、教養科目に分類される「語学科目」「体育科目」「情報系科目」は対象から除外します。

アクティブラーニング授業科目間の位置づけイメージ



2. アクティブラーニングを経験する学生の割合（授業形態・取り組み別）

1. 1) でアクティブラーニング型授業科目としてカウントした科目の授業の中で（0科目の場合は対象外）、A：グループ学習、B：プレゼンテーション、C：PBL、D：振り返りシート（学習の記録を含む）といった授業形態・取り組みを、全学科生のうち、どれくらいの割合で経験しますか。科目区分ごと、授業形態区分ごとに各年次で経験する学科生の割合を、以下の【回答群ニ】から選び、（ ）内に番号でお答えください。

【回答群ニ】

①ほぼ全員が経験する ②半数以上が経験する ③半数未満が経験する ④経験しない ⑤把握していない

科目区分		授業形態・取り組み		1年次	2年次	3年次	4年次
I	ゼミ	A	グループ学習	()	()	()	()
		B	プレゼンテーション	()	()	()	()
		C	P B L	()	()	()	()
		D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()
II	演習・実験・実習	A	グループ学習	()	()	()	()
		B	プレゼンテーション	()	()	()	()
		C	P B L	()	()	()	()
		D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()
III	アクティブラーニングを含む講義	A	グループ学習	()	()	()	()
		B	プレゼンテーション	()	()	()	()
		C	P B L	()	()	()	()
		D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()

3. 正課としてのインターンシップと海外留学を経験する学生の割合

以下の設問について、該当する回答を以下の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。

【回答群ニ】

- ①ほぼ全員が経験する ②半数以上が経験する ③半数未満が経験する ④経験しない ⑤把握していない

項 目	回 答
<p>1) 正課科目（単位認定科目）としてのインターンシップ 正課科目（単位認定科目）で国内外でのインターンシップを4年間を通じて経験する学科生の割合を、上記の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。 ※複数の該当科目がある場合、それらの全科目を通じ、全学科生のうち、どれくらいの割合で経験するのかで回答してください。</p>	()
<p>2) 正課科目（単位認定科目）としての海外留学 正課科目（単位認定科目）の海外留学を経験する学科生の割合を上記の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。 ※複数の該当科目がある場合、それらの全科目を通じ、全学科生のうち、どれくらいの割合で経験するのかで回答してください。</p>	()

4. 学生のジェネリックスキルの評価について

1) 専門知識だけでなくジェネリックスキル（汎用的能力）をルーブリック等を用いて各科目で評価していますか（IR や形成的評価も含む）。該当する回答を以下の【回答群ホ】から選び、（ ）内に番号でお答えください。

【回答群ホ】

①全科目で評価している ②一部の科目で評価している ③評価していない

回答（ _____ ）

2) 1) での回答が①あるいは②であった場合、具体的にその評価方法についてお教えてください。

ご協力ありがとうございました。